

北海道議会議員  
Go forward! 北海道 たけだ 浩 光道政通信 ひろみつ



住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!

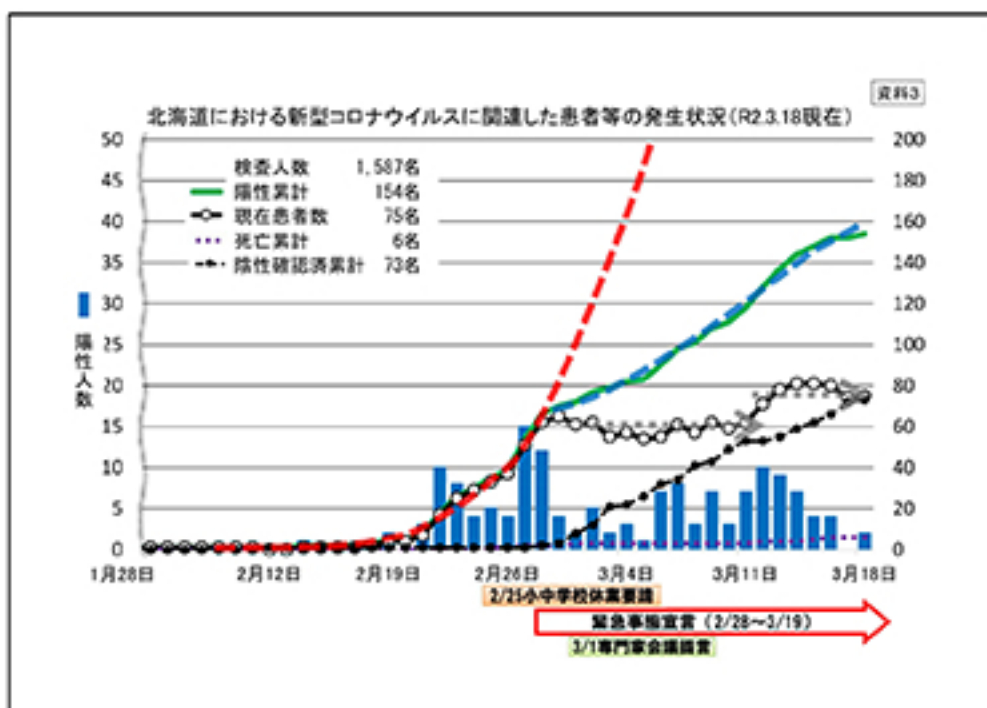
# 新型コロナウイルス 感染症との闘い!

## 第1回定例道議会終了～大胆な経済対策を!!

2019年12月に、中国の湖北省武漢市で最初の症例が確認された「新型コロナウイルス感染症」は、瞬く間に全世界へと拡大しました。3月22日現在で感染者は30万人を超えています。今は、収束させるための政策の継続と、終息させるための薬やワクチンの一日も早い開発が待たれるところです。

北海道は、鈴木知事が「緊急事態宣言」を全国に先駆けて出したことにより、爆発的な感染拡大は抑えられましたが、宣言前に十分な関係者協議がはかられなかったことから、学校関係者や経済界に多大な影響を与えました。とくに中小企業や自営業の方々への経済的影響は大きく、全国的にも問題となっています。

知事は、国に頼るだけではなく、北海道独自の対策を打ち出していくべきです。私たちの会派「民主・道民連合」は、今回の定例道議会の代表質問、予算特別委員会の中で、強く訴えてきました。



うがい・手洗い



咳エチケット

# イタリアの医療崩壊を教訓に

欧州の感染拡大の中で、特にイタリアは感染者数、死亡者数ともに中国を超えました。原因については、いろいろと考えられますが、高齢化率（全人口に占める65歳以上の比率）が23%で世界第2位であることや、国の医療費削減のため公立病院の統廃合が進み、過去5年間に760もの医療機関が閉鎖されたことなどが、今回の感染拡大で医療崩壊を招いたとも言われています。

しかし、これは日本も人ごとではないのです。昨年、厚生労働省は、統廃合を進めた方がよいという全国424の公立・公的病院名を公表しました。北海道は54の病院名が公表されています。このまま、地域の人口減少に伴う患者数減少を理由にして、統廃合を進めれば、日本にもイタリアと同様のことが起こる可能性もあるのです。

広域分散型の北海道において、地域の公立・公的病院は重要な役割を担っています。



2020.2.26保健福祉委員会で質問

今、イタリアの医療崩壊を教訓にして、日本の、そして北海道の地域医療を展開していかなければなりません。

私は、2月の時点で、保健福祉委員会において感染拡大を視野に入れて、感染症指定病院以外の医療機関確保を訴えてきました。現時点で新型コロナウイルス感染症との闘いはまだまだ続いています。道民が安心できる医療体制の確保に向けて、道議会活動を続けてまいります。

## ただだ浩光プロフィール

【すまい】 西区西野（在47年）

- 1960年 江別市生まれ  
その後、すぐ札幌へ
- 1973年 札幌市立二十四軒小学校 卒業
- 1976年 札幌市立手稲東中学校 卒業
- 1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業
- 1980年 北海道大学水産学部 中退
- 1985年 北海道大学医学部附属  
診療放射線技師学校 卒業
- 1985年 札幌医科大学附属病院勤務
- 2019年 北海道議会議員 初当選

## ただだ浩光政務事務所

〒063-0003

西区山の手3条1丁目3-1林ビル2階

TEL:(011)624-8030

FAX:(011)624-8031

e-mail : info@takeda-hiromitsu.com

